



くみあひ

今 思うこと

会長 清水 昭男

僭越ながら紙面をお借りし、現状と想いを記しておきたいと思う。 齢、来年夏、いよいよ後期高齢者に突入する。長く「こころ



令和7年度 豊かな人づくり5000人委員 淡路連絡会総会



豊かな人づくり5000人委員 淡路連絡会」に関われ、支えていただいた多くの貌が思い出される。何とも長い会の名前に戸惑いながらも年を経て、慣れてくると「5000人委員会」が板についた。 この事業は平成元年から始まった。(做)員原俊民元知事の肝いりで始められ、井戸敏三前知事に引き継がれてきた。活動の

中心は元気な地域づくり、その担い手は人、その人を育成し、県民運動を盛り上げてもらおうとするもので、二年間の研修を修了した方々が結成されたのが当会であった。平成二年度修了でOBとなったが組織だった活動は不明で、その二年后、平成四年度修了から会長が選任され、動き始めた。 初代は木村幸一さんで、活発に挑戦され、二代目は狩野道子さんで、地道な活動に励まれ、三代目が私で今に至る。そんな連絡会(OB)会ですが令和三年度で県の育成事業が終了し、三十一年間続いた事業に幕を降ろした。新

規の代謝が止まり、継続するのが、困難になるだろうと想像された。 足元も心も落ち着かないなか、当会が続けられてきた。 勿論、研修終了と同時に解散した

地域(中播磨)もある。現時点で解散の意向の地域はないと聞く。 新規役員は加わらず、替わらない。反面結びつきはより強くなったが、それぞれ歳を重ね、以前のような前向きで動きのある活動が望めなくなった。 令和七年度に二ヶ年の会費を納入戴き、八年度は以前通り、活動するが、以降についてはどんなカタチが最善なのか、現在、役員会で検討中である。長年引き継がれた会であり、淡路青少年本部との関係を投げ出す訳にはいかないし、体力がある限り支援していくことは当然だろう。少し肩の荷を下ろしたいというのも本音である。中途半端な状況でこれ以上会員にご負担を掛けることも憚られるが、育てられた本部を支える有志グループでリスタートすることも考えている。 会員の皆様には令和九年度以降のカタチについてご提案と継続のアイデアを清水まで是非お聞かせ頂ければ幸いです。

令和七年度会費 納入ご芳名

- (敬称略)
- | | |
|--------|--------|
| 伊勢崎 旦實 | 大谷 真智子 |
| 奥田 豊子 | 岸元 久美子 |
| 岸元 利秀 | 北崎 かつ子 |
| 鯉森 卓子 | 清水 昭男 |
| 清水美登里 | 庄田 康夫 |
| 瀬尾 真未 | 鷲巢 恭廣 |

- | | |
|-------|--------|
| 田中 久已 | 角村 和也 |
| 仲野 知子 | 仲野 幹 |
| 西岡 鈴美 | 人形寺 祥弘 |
| 狭間 和美 | 花野 裕章 |
| 藤本 裕子 | 門田 照子 |
| 山崎 健祐 | 米田 佳美 |
- (令和8年2月現在 50音順)
皆様のご協力で、事業を実施しています。 今後とも本会へのお見守り、ご支援を切にお願い致します。

令和七年度 淡路青少年本部長賞

岸元 秀利様



五〇〇人 委員連絡会 本部役員。 博識で、歴史、植物、野外・レクレーション活動、縁結びなどにも関わる。

令和8年度 通常総会

日時：令和8年4月25日(土) 12時〜 現地集合
場所：シャルティエ(仏料理) 洲本市栄町3-1-49
電話 38-6636
内容：報告・計画(案)(事業・会計) 行事：洲本市内散策(調整中) その他 時価でお願い
(雨天の場合は行事変更あり) ※問合せは清水まで (090-3275-4634)

K U N I U M I

令和七年度 あゆみ

7月 小学生親子体験学習
ドローン体験

於：淡路市・淡路文化会館



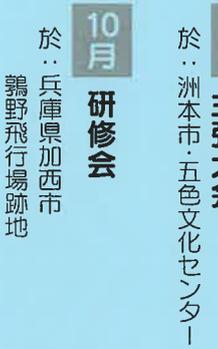
8月 淡路青少年の
主張大会

於：洲本市・五色文化センター



10月 研修会

於：兵庫県加西市
鵜野飛行場跡地



10月 ボーイスカウト
洲本第二回・入団式

於：洲本市民交流センター

10月 こうのとり大使・縁
結び交流会(第1回)

於：洲本市・五色浜千鳥

10月 あわチカラフェス
ティバル2025

於：国営明石海峡公園



10月 世代間交流
阿万ハロウィン

於：南あわじ市阿万



11月 3海峡クリーン大作戦
海岸清掃

於：伊弉海岸ほか4ヶ所

11月 健康ひょうご21
健康づくり研修会

於：洲本総合庁舎

11月 いのちのつながりのセミナー
ナード公開講座

於：広田地区公民館

11月 洲本市民ウォークの
集い

於：洲本第二小学校〜三熊山



12月 成ヶ島クリーン作戦

於：洲本市・由良成ヶ島



2026年
2月 こうのとり大使・縁
結び交流会(第2回)

於：洲本市・洲本総合庁舎

編集後記

令和七年度も終わり、花は梅から桜に変わった。無い知恵を絞り、編集後記にたどり着いた。季節は確かに移ったが、国内外とも先行きが見通せず、予測できない格差と分断が広がり続けている。

役員の献身的なお助けで多くの事業に参加させてもらい、展

開できたと思いが高い。

事業の選定、企画、運営で培ったノウハウと得意な分野で特色ある事業を見せてもらった。島内外を飛び回った感である。その前向きで頭の冴えはまだまだ老いをカバーできそうな趣である。紙面の写真に目を通すと情熱とバイタリテイが飛び出しそう。

会員、役員、関わって頂いた方々に唯々感謝の思いです。

(T・S)